

●笹まつり／内子町

愛媛のアンティーク街道とも呼ばれる内子町。

「笹まつり」は、白壁になまこ壁、格子戸など昔ながらの町並みがそのまま残る内子町の本町商店街を舞台に開催される華やかな夏の祭典。

約50本の笹飾りが商店街を彩る風景は壮観です。開催される2日間は歩行者天国となり、笹飾りコンクールや笹踊りコンクールのほか、相撲大会や町並み撮影会などのイベントもいっぱい。

毎年8月6、7日開催されます。(雨天で笹踊りが行えない場合は、8月8日に順延)

ホームページ

<https://www.shikoku-rokin.or.jp>



四国ろうきん自己資本充実の状況

単体自己資本比率(国内基準)

(単位: %)

2021年度末	2022年度末
10.38	10.34

「自己資本比率」とは

自己資本比率は、金融機関の自己資本の状況が適当であるかどうかを判断するための基準として、法令により定められた指標です。海外に営業拠点をもつ金融機関には国際統一基準とよばれる自己資本比率が、それ以外の金融機関には国内基準とよばれる比率が適用されます。

2022年度末の当金庫の自己資本比率は10.34%であり、国内基準の4%を大きく上回っています。

また、自己資本のうち出資金・利益準備金・特別積立金等で構成されるコア資本が占める割合が非常に高くなっており、その割合が高ければ、より健全性が高い水準にあると考えられます。

したがって、当金庫の自己資本は、質・量ともに充実していると評価しています。

勤労者ならどなたでもご利用いただけます。
ろうきんの商品やサービスなど業務内容は、一般の金融機関とほとんど変わりません。
しかし「目的」「運営」「運用」が違います。

ろうきんは、
はたらく人の
ための
金融機関です。

目的

はたらく仲間がつくった金融機関

ろうきんは、労働組合や生活協同組合などはたらく仲間が、お互いを助け合うためにつくった協同組織の金融機関です。

運営

営利を目的としない金融機関

ろうきんは、労働金庫法というルールに基づいて、営利を目的とせず公平かつ民主的に運営されています。

運用

生活者本位に考える金融機関

はたらく人からお預かりした資金は、はたらく人たちの大切な共有財産として、はたらく仲間とその家族の生活を守り、より豊かにするために役立てられています。



第23回 通常総会 報 告



四国労働金庫は、6月26日に高松市において第23回通常総会を開催し、2022年度(年1回3月決算)の事業報告、2023年度事業計画、任期満了に伴う(理事・監事)の改選を含めた5議案が承認されました。

2022年度は第8期中期経営計画の中間年度であり、引き続き「デジタル革命下の経営改革」と「理念経営の実践による役割発揮宣言」を骨子に、10年後の四国ろうきんのあるべき姿を目指す施策に取り組みました。

第8期中期経営計画の最終年度となる2023年度は、2022年度に引き続き、①経営戦略、②営業戦略、③IT戦略、④コンプライアンス・リスク管理戦略、⑤人事戦略、⑥財務戦略の6項目を重点課題として取り組めます。

2022年度の「ろうきん運動」において、顕著な業績をあげられた38会員の表彰と、永年にわたり会員推進機構に功績のありました17名の方の表彰を行い、表彰状と記念品を贈呈いたしました。

第23回通常総会は、任期満了に伴う役員(理事・監事)の改選を行い、23名の理事と5名の監事を選出した後、理事長に杉本宗之理事を選任し、2023年度役員体制を決定いたしました。

なお、新任役員の任期は、2025年6月までの2年間です。

今後とも、理事・監事の相互牽制機能の強化や業務執行体制の充実を図り、会員・お客様の負担に応え得る経営管理態勢の構築と経営改革に取り組めます。

2023年度非常勤役員の紹介

役職名	氏名	所属団体等
理事	岡 美由紀	N T T労働組合四国総支部徳島分会
理事	原内 正敏	ジェイテクト労働組合徳島支部
理事	中川 孝文	自治労働徳島県本部
理事	森池 謙治	N T T労働組合四国総支部香川分会
理事	大熊 正樹	自治労働香川県本部
理事	上川 良	J P労働組合四国地方本部香川連絡協議会
理事	辻 賢史	丸点通運労働組合
理事	岡本 武	別子労働組合
理事	高瀬 康文	宇和島自動車労働組合
理事	中田 信也	大王製紙労働組合
理事	白石 智章	帝人労働組合松山支部
理事	田上 誉	ルネサスグループ労働組合連合会西条地区支部
理事	石川 眞人	高知県教職員組合
理事	中平 正幸	自治労働高知県本部
理事	西原 正雄	J A M ヤンマーアグリ労働組合高知支部
理事	塩坂 博史	U A センセンサニーマート労働組合
理事	北村 亜矢子	員 外
監事	宮本 武司	四国高速運輸労働組合
監事	中野 圭司	J R 四国労働組合香川支部
監事	白石 岳	クラレ労働組合西条支部
監事	山岡 千佳	N T T労働組合四国総支部高知分会

2023年度常勤役員体制

役職名	氏名	所属団体等
理事長	杉本 宗之	J A M 井関農機労働組合松山支部
副理事長	十川 淳二	タダノ労働組合
専務理事	野村 治文	員 外
常務理事	井上 浩司	とさでん交通労働組合
常務理事	新居 栄治	P H C労働組合徳島地区
常務理事	隼田 寿浩	員 外
常勤監事	中橋 博	員 外

2022年度表彰会員

香川地区	
会員名	営業店
生活協同組合コープかがわ	本店営業部
香川県学校生活協同組合	本店営業部
高松市職員連合労働組合	本店営業部
神島化学労働組合	観音寺支店
小豆島中央病院職員労働組合	内海出張所
ヤマト運輸労働組合香川支部	瀬戸大橋支店
全労災病院労働組合香川支部	瀬戸大橋支店
セトラスグループ労働組合三木支部	志度支店

徳島地区	
会員名	営業店
徳島県職員労働組合	徳島支店
自治労働徳島市職員労働組合連合会	徳島支店
徳島地区ろうきん友の会池田支部	池田支店
徳島県病院局職員労働組合三好病院支部	池田支店
生活協同組合とくしま生協	徳島北支店
ヤマト運輸労働組合徳島支部	徳島北支店
四国電力労働組合阿南火力支部	阿南支店
石井町職員労働組合	鴨島支店

愛媛地区	
会員名	営業店
生活協同組合コープえひめ	愛媛支店
伊予鉄労働組合	愛媛支店
P H C労働組合愛媛地区	愛媛支店
四国名鉄運輸労働組合	松山支店
J P労働組合中予支部	松山支店
住友共同電力労働組合	新居浜支店
三木特種製紙労働組合	四国中央支店
大西物流株式会社ふれあい会	四国中央支店
今治造船労働組合	今治支店
自治労働連西予市職員労働組合	八幡浜支店
宇和島自動車労働組合	宇和島支店
クラレ労働組合西条支部	西条支店

高知地区	
会員名	営業店
高知地区ろうきん友の高知支部	高知支店
いの町職員労働組合	高知支店
土佐市職員労働組合	高知支店
黒潮町職員労働組合	中村支店
須崎市職員労働組合	須崎支店
室戸市職員労働組合	安芸支店
J A M ヤンマーアグリ労働組合高知支部	南国支店
J A M S E G労働組合	南国支店
こうち生活協同組合	高知東支店
高知医療センター労働組合	高知東支店

ご挨拶



平素より、私ども「四国ろうきん」をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。およそ3年間にわたって猛威を振るってきた新型コロナ禍も「5類」移行を機に落ち着きを取り戻し、ここに来て本格的に経済活動が活発化し街中にも賑わいが戻っているようです。しかしながら一向に収まる気配のない国際紛争や頻りに襲ってくる自然災害などで世界は非常に不安定な状況に置かれ、原材料不足や円安による物価上昇は私たちの生活に大きな影を落としています。そしてそれは弊金庫の事業運営にも影響し2022年度も本当に厳しい一年になりました。そんな中ではございましたが、会員・お客さまの多大なるご理解とご協力により先の6月26日、4年ぶりとなる対面開催で第23回通常総会を無事終了することができました。

2022年度は「デジタル革命下の経営改革」と「理念経営の実践による役割発揮」を2大テーマとした「第8期中期3か年計画」の中間年度ということで、前年度に引き続き「ろうきんアプリ」の機能強化や「キャッシュレス決済」への積極参入、「iDeCo」や「くるまローン」などの積極推進で、次世代に向けた「ろうきんブランド力」の向上を目指し、勤労者の生活向上という「理念経営の実現」や「金融包摂」による事業存続の礎を築く施策を積極的に行って参りました。

その結果、収支面では、経常利益は9億99百万円(計画比+48百万円)、当期純利益は7億30百万円(計画比+32百万円)と、コロナ禍や低金利環境という厳しい状況下においても尚、計画を達成することができました。なお、自己資本比率は、10.34%となりました。

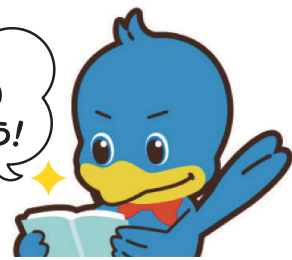
さて、2023年度は「第8期中期経営計画」の総仕上げの年であると同時に次期「第9期中期経営計画」の準備の年という極めて重要な年度になります。総会でご承認頂いたように私たち「四国ろうきん」はデジタル技術を駆使した業務改革や顧客サービスの提供、そしてコンサルティング業務の拡充などで、超低金利環境の長期化や超少子・高齢化による人口減少の進展、更には人生100年時代の到来といった大きな社会変化の中においても尚、将来にわたって会員やお客さまに信頼され選択され愛される「四国ろうきん」を目指し、「協同組織福祉金融機関」としての矜持を胸にその使命を果たして行く所存でございます。

この「Wing」は、「四国ろうきん」の現状や活動内容について、幅広くお客さまに知って頂くために発行しているものです。是非ご一読下さい。

2023年7月
四国労働金庫 理事長 杉本宗之

2024年から始まる、 「新NISA」。

今から
しっかり
備えよう!



2024年1月から、大幅な制度改正を経てスタートする「新NISA」。

「これまでのNISAと何が違うの?」「今までと比べて使いやすい制度になるの?」—— 様々な疑問を持たれている方も多いのではないのでしょうか。

NISA制度をすでに利用されている方も、新NISAのスタートをきっかけにこれから始めてみようと考えている方も、将来に向けた資産形成の第一歩としての「NISA制度」について、どのように変化するのかチェックしてみましょう。

◆ 制度概要

	現行のNISA		新 NISA	
	つみたてNISA	一般NISA	つみたて投資枠	成長投資枠
非課税保有期間	20年間	5 年間	無 期 限 POINT 1	
年間投資上限額	40万円	120万円	合計360万円 POINT 2	
			120万円	240万円
非課税保有限度額 (累計の投資上限額)	800万円	600万円	1,800万円 POINT 3	
			(成長投資枠はうち1,200万円まで)	
口座開設期間	2023年まで		恒 久 化 POINT 4	
投資対象商品	長期の積立・分散投資に適した一定の 投資信託	投資信託・上場株式等	長期の積立・分散投資に適した一定の 投資信託 (※1)	投資信託・上場株式等 (※2)
売却した場合の 取扱い	年間投資上限額・非課税保有限度額ともに、 再利用は不可		年間投資上限額の再利用は不可だが、 非課税保有限度額の再利用が可能	
対象年齢	その年の1月1日において18歳以上		その年の1月1日において18歳以上	
購入方法	積 立	積立・一括	積 立	積立・一括
制度の併用	不可		可能 POINT 5	

※1 「つみたて投資枠」の取扱商品は、現行の「つみたてNISA」の取扱商品を引継ぎます。

※2 ①整理・監理銘柄 ②信託期間20年未満、高レバレッジ型および毎月分配型の投資信託等を除外。

「新NISA」制度、チェックしたいポイントはココ!

POINT 1 非課税保有期間が無期限に!

現行のNISA制度では、つみたてNISAで20年、一般NISAで5年と非課税保有期間が限られていましたが、新NISA制度では非課税保有期間が無期限になります。

POINT 2 年間投資上限額が拡大!

新NISA制度では、年間投資上限額が「つみたて投資枠」で120万円、「成長投資枠」で240万円、合計で360万円に拡大します。

POINT 3 非課税保有限度額が拡大!

非課税保有限度額(累計の投資上限額)が、全体で1,800万円に拡大します(成長投資枠は、うち1,200万円まで)。また、売却した場合は翌年以降、その商品の取得価額(簿価)分の再利用が可能になります。

POINT 4 新NISAでは、制度が恒久化します!

現行のNISA制度は、口座開設期間に定めがある期間限定の制度でしたが、新NISAでは制度が恒久化します。

※ジュニアNISAを利用した新規投資は、2023年末をもって終了します。

POINT 5 「つみたて投資枠」と「成長投資枠」の併用が可能に!

現行のNISA制度では「つみたてNISA」と「一般NISA」の併用は認められていませんが、新NISA制度では同一年に「つみたて投資枠」と「成長投資枠」を併用することができます。

※本リーフレットは、「令和5年度 税制改正の大綱」等2023年5月1日時点で発表されている情報および法令等に基づき労働金庫連合会が作成しています。今後、関連法令等の改正が行われた場合、内容等が変更になる可能性があります。

2023年からスタートしよう。
ろうきんNISA!

2023年にNISA口座を開設すると、
2023年分の非課税メリットを受けられる
ことに加えて2024年からの新NISAの
非課税枠が別枠で設定されます!

詳しくは
「ろうきんNISA
スペシャルサイト」を、
チェック!



Q すでにNISA口座を持っている人も、
「新NISA」を始める手続きが必要なの?

A 2023年末までに「つみたてNISA」
または「一般NISA」の口座を開設し
ていれば、手続き不要で「新NISA」
口座が自動開設されます。

Q 2023年までにNISA口座で
保有している資産はどうなるの?

A 2023年末までに「つみたてNISA」と「一般NISA」
で保有している資産を売却する必要はありません。新
規買付はできませんが、非課税保有期間が終了するま
では引き続き運用が可能です(※)。

※非課税保有期間終了後であっても、新NISA制度の口座へ資産の移管(ロールオーバー)することはできません。



NISAの申込みは店頭または「ろうきんダイレクト」から！

詳しくは **ろうきんダイレクト** で検索！

・お問合わせ先 **0120-505-690**

四国財務局長(登金)第26号

投資信託についてのご注意

【投資信託のリスク】

●投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により、基準価額は変動します。よって元本および収益金が保証されておりません。

【投資信託に関する諸費用】

●投資信託は、申込時に「購入時手数料」や換金時に「信託財産留保額」および「換金手数料」がかかるものがあります。また、運用期間中は「信託報酬」および「その他の費用(監査報酬等)」などががかかります。(つみたてNISAの対象ファンドは購入時の手数料がかからない〈ノーロード〉ファンドです。)ただし、これら費用は各ファンドにより異なりますので、利率、上限額等を表示することができません。必ず各ファンドの目論見書等でご確認ください。また、当該手数料等の合計額についても、ファンドによって、またファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

【その他の重要事項】

- 投資信託は、預金保険の対象ではありません。当金庫で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資信託は、預金ではなく、元本の保証はされていません。
- 投資信託の運用による損益は、投資信託を購入したお客さまに帰属します。
- 投資信託の取扱いは当金庫が行いますが、投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- 投資信託をご購入の際には「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補充書面」をご確認のうえご自身でご判断ください。「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補充書面」は、当金庫の投資信託取扱店舗にご用意しております。ただし、インターネットバンキング専用ファンドについては、インターネットによる電子交付となります。
- 投資信託の取得のお申込みに関しては、クーリングオフの規定の適用はありません。

これからの家づくり相談会

瀬戸大橋支店 推進委員会

2023年6月25日(日)、ホテルアネシス瀬戸大橋にて推進委員会主催の「これからの家づくり相談会」をおよそ4年ぶりに開催しました。

当日は19の住宅業者が参加し、会員組合員より35組の方に来場いただきました。

相談者からは「何も分からない状態で来たけどいろいろ話が聞けて良かった。」「ローン相談も同時にできて良かった。」等の声が聞かれました。中には午前中に来場したものの、話を聞いてみたい業者が多く、午後から再度来場される組合員の方もいらっしゃいました。

今後も推進委員会として会員組合員の皆様に喜んでいただけるイベントを企画していきます。



2022年度 四国ろうきん1万人 笑顔プロジェクト



四国労働金庫では、「SDGs 17ゴール」の実現に向け、社会貢献活動の一環として、2018年度より「四国ろうきん1万人笑顔プロジェクト」の取り組みを進めています。

この取り組みは、お客さまにご利用いただいたローン1件につき100円をろうきんが拠出し、お客さまに代わって寄付するものです。寄付先は、教育関係、子育て支援関係、障がい者支援関係、環境保護関係から、お客さまに選んでいただきます。この度、2022年度の取組期間(2022年4月～2023年3月)が終了し、寄付金額は548,100円(2018年度からの累計金額は2,946,000円)となりました。



2022年度「四国ろうきん1万人笑顔プロジェクト」寄付先および寄付金額 合計548,100円

地区	寄付金額	寄付先	活動内容
徳島	136,400円	徳島県教育委員会生涯学習課	児童の読書活動支援や育成事業
香川	168,000円	香川県健康福祉部子ども政策推進局	子育て支援
愛媛	106,300円	愛媛県身体障害者団体連合会	障がい者の社会参加推進等支援
高知	137,400円	高知県 林業振興・環境部 環境計画推進課	地球温暖化防止、自然環境の保護など



2022年度「ピンクリボン運動」 支援の寄付を行いました。

四国労働金庫では、社会貢献活動の一環として、「女性が健康で長く働くことができる社会づくり」に貢献するために、2012年度から乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボン運動」への支援に取り組んでいます。この運動は、四国ろうきんATMにおいて、ろうきんカード(マイブラン含む)および他行カードでの支払1回につき1円を四国ろうきんが負担し、寄付するものです。

このたび、2022年度の取組期間(2022年2月～2023年1月)が終了し、「ピンクリボン運動」を実施している四国地区の「公益財団法人日本対がん協会」のグループ組織に寄付を行いました。

なお、2012年度より実施している「ピンクリボン運動」への寄付金額の累計は、10,096,294円となりました。



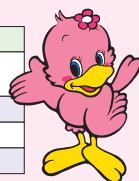
香川地区目録贈呈式

<寄付金額と寄付先について>

寄付金額 合計658,677円

地区	寄付金額	寄付先
徳島	110,708円	公益財団法人とくしま未来健康づくり機構
香川	132,279円	ピンクリボンかがわ県協議会
愛媛	172,003円	ピンクリボンえひめ協議会
高知	243,687円	公益財団法人 高知県総合保健協会

※各地区の寄付金額は、ATM支払件数実績により決定します。



助成金・寄付金の合計額が 1億円に達しました！

四国労働金庫では、2002年に「四国労働金庫・社会貢献活動に関する基本方針」に基づき、「助成金制度」を創設。2012年度からは「ピンクリボンプロジェクト」を開始し、2018年度から新たに「1万人笑顔プロジェクト」にも取り組んでまいりました。このたび、2022年度の取り組みが終了し、これまでの助成金および寄付金の合計額が100,254,906円となりました。今後も人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与してまいります。